

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 恵那特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月2日(金) 9:30～11:30
- 3 開催場所 知新会館(恵那特別支援学校隣接)
- 4 参加者

会長	市岡 知訓	当校PTA会長
副会長	渡邊 康正	明知鉄道株式会社(代表取締役 専務)
	伊藤 吉三	千代田電子工業株式会社(工場長)
	加藤 愛子	地域住民(岩村城女太鼓代表)
	齋藤 寿久	特定非営利活動法人くわのみ放課後等デイサービス 日中一時支援事業 りんごクラブ(管理者)
	鈴木 隆一	地域住民(NPO 法人いわむら一斎塾)
	鈴木 由香	障害者地域支援センター 結
	長谷川則子	認定NPO法人かがやきキッズクラブ (理事長 施設管理者)
	村上 理恵	株式会社スプレット(統括)
学校側	三島 祥江	校長
	渡辺 敏昭	事務部長
	保 義博	教頭
	久保 恭子	小学部主事
	後藤 正樹	中学部主事
	鬼頭 克好	高等部主事
	小木曾齊昭	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度の取組の成果と課題について

※各学部からの報告：第2回運営協議会で意見を受けて

- ア 余暇を楽しむことも生活していく上では大切なことであり、力も付けてほしい。
→学校運営協議委員の提案で、中学部生徒が、老人介護施設で交流会を行った。電車に乗り、スーパーで弁当を買い、利用者と交流会をした。
- イ 岩邑小学校や中学校の地域交流の内容を参考にしようか。
→岩邑小中学校では、「地域学校協働活動事業」を行っており、特別支援学校も連携できるよう働きかける。恵南地区での「浪漫学園」や地域の小学校・中学校が参加している「地域学校協働活動」等、元々ある組織を活用することで、地域と協働して活動できる可能性が広がるのではないか。

(2) 高等部クリーンサービス班による喫茶サービス

(3) グループ協議(協議テーマ：令和5年度の取組の成果と課題について)

< 1 グループ >

- 意見 1 : 卒業生の多くが家庭と職場以外の居場所が少ない。余暇を楽しめることや場所を在学中に見つけてほしい。
- 意見 2 : 余暇や趣味につながるものも授業で取り組めるとよい。
- 意見 3 : 卒業後、電車やバスを利用すること、バス停まで歩くこと、バス停で待つことができると進路先の選択肢が増える。実態に応じた自力通学の練習ができるとよい。
- 意見 4 : 実際に店でお金を使って買い物をしたり、予算の中で買い物をしたりする活動が大切である。
- 意見 5 : 中学部の作業学習では、販売するだけでなく、自分たちが作ったものをプレゼントして、喜んでもらう経験ができるとよい。

< 2 グループ >

- 意見 1 : 学校外で散歩に出かける機会に交通安全教室で学んだことを実践する経験を重ねてほしい。
- 意見 2 : 能登半島での地震があったが普段の訓練が重要である。地元の防災士を活用した防災教育を行うとよい。
- 意見 3 : 身だしなみや衛生面、自分の体を守る等、小学部からの積み重ねが必要であり、学校で学んだことが家庭でもできるように連携する必要がある。

< 3 グループ >

- 意見 1 : オンラインでの取組と実体験を交え、より一層効果的な学習が進んでいる。
- 意見 2 : 情報発信について、HP よりもインスタや SNS の方が若い世代には伝わりやすい。
- 意見 3 : 岩村町の清掃活動（城山清掃）に参加してほしい。
- 意見 4 : 保護者の理解を得ながら、地域の活動に参加できるとよい。
- 意見 5 : 近隣の地域では、地域の学校でつながりをもって活動している組織がある。そういった組織に入れるように働きかけてほしい。
- 意見 6 : 学校だよりなどの通信も利用しながらさらに充実させて情報発信していったほしい。

6 会議のまとめ

- ・今年度の各学部の取組状況や次年度の方向性について理解を得られた。
- ・卒業後の生活（働く、余暇、生活）を具体的にイメージし、校内外での活動を計画する。
- ・岩村町内の地域資源や人材を教育活動に行かせるよう計画を見直す。
- ・保護者や地域への情報発信の在り方については、引き続きホームページや学校だより、広報等で発信し、充実を図る。